

～在ルワンダ 日本大使館～
講演会のお知らせ

講師	かぬか ひろたか 嘉糠 洋陸先生 東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座 教授
テーマ	「なぜ蚊は人を襲うのか」
日時	平成 29 年 2 月 23 日 (木) 15:30～17:00
場所	在ルワンダ日本大使館 広報文化スペース (領事窓口 左手)

【嘉糠先生からのメッセージ】

「蚊は、私達の血を吸います。老若男女、蚊に刺されたことのない人はいないように、人間と直接触れあう機会が最も多い虫がこの蚊です。メスの蚊が私達の血液を吸い取った時、そのお返しに残すのは痒みだけではありません。望まないお土産として、感染症の原因を体内に送り込むことがあります。2014年夏に発生したデング熱の国内流行で、2016年には南米でジカ熱が流行し、蚊に刺されることの怖さが再び認識されました。今回の講演では、ルワンダであまりに身近な、血を吸う小さな虫のことを改めてよく知るとともに、病気のリスクの意味を一緒に考えてみたいと思います。」



嘉糠先生 (お写真) と著書